

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カムカムせんだい		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		2025年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか』の設問に対する満足度が高かった。これは、非常に嬉しい評価でスタッフのモチベーションに繋がる。今後も、慢心することなく、そのお子さんの在り方に寄り添った支援を心がけたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族に日々の様子を伝え、またご家庭や学校、他事業所での取り組みや様子について知らせていただいて、お子さんの成長につながる関わりを持つ。 ・お子さんの様子を注意深く観察し「特性」と「性格」を丁寧に見分けたかかわりを心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の苦手なことへの付き合い方について、ご家族のお話を聞き、事業所内で検討する。 ・ご本人がお家に帰った後にも安定して過ごし、カムカムで練習したことの成果を発揮できるように、ご家庭との連携を強化していきたい。 ・「特性」についての共通の認識を持った対応をする為に、スタッフ間のコミュニケーションも更に密にとっていきたい。

2	<p>利用に関する事業所説明や、運営規程、利用料などの「事業所運営」に関する説明。支援プログラムの説明や、家族の意向の確認などの、ご家庭とのコミュニケーションが必要な部分での評価が高かった。お子さんや、ご家族のニーズを拾いながら、適切な『説明』ができていたとの評価だと考えている。</p>	<p>・ご契約時に、きちんと説明することを心がけており、ご契約後でも疑問等があった時の問い合わせには丁寧に応じることも合わせて心がけている。</p> <p>・説明する時は、説明の担当者を絞り別紙などを用いて説明している</p>	<p>・保護者の方たちの表情などをよく見ながら、分からない部分などがないか確認して説明を進めていく。分かりやすい表現の言葉選びを心がける。</p>
---	--	---	---

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の他の児童や保護者同士の交流の機会に関する項目 ・今まで機会がなかったため、あまり検討したことがなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童や保護者同士の交流の機会へのニーズがあるのかを確かめる必要があると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを把握した上で、外部機関などの紹介や、集会の案内などの範囲での対応が可能なのか、自主的な機会の設定が妥当なのかの検討を随時行っていく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別支援計画」の説明が不十分だと思われる。しっかりと機会を設けてご説明しているが、伝わりにくかったりしているのだと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え方への工夫、分かりやすい言葉選びなどの課題があげられる ・「分かりやすさ」がひとりひとり違うため、それぞれの個性を把握する力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への説明の前に、スタッフに説明しながら伝わりにくい表現はないかなどの確認をおこなう ・説明者自身のボキャブラリーを増やしつつ、相手の様子を見ながら話せる「余裕」を持つようにスタッフ自身が訓練する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信に課題を感じる。 <p>日々の業務の中で、お子さんたちとのやりとりで精一杯になっているということもあり疎かになりがちになっている。事業所の情報が発信されているということは、保護者や周囲の安心にも繋がると考えられるので、無理なくの充実を図っていききたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で「情報発信」のイメージの共有ができていない ・日々の業務や、支援内容の「なに」を発信するといったのが漠然としている。カムカムの日常すぎて、当たり前のことになっていて「発信してもいいこと」という視点が欠けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で検討していく時間をつくる。活動内容や、イベントなどもだが、日常の些細なことなどでも「カムカムを知ってもらおう情報」になることなのかの検討からはじめたい。そうすることによって、自分たちがやっていることへの振り返りにもなり習熟していき、より一層、専門性の高い支援が提供に繋がるのではないかと考えられる。